

「ご挨拶」



全国教会女性連合会会長
李炫知 勸士任

「主のみ旨を悟る者」

ハレルヤ！

主の御名を讃美します。

2020 年も主の導きによって浪速教会の働きが豊かになる事を願っています。

金鐘賢牧師先生と奥様そして神さまのミッションに
応答しようと日々祈りと伝道の使命を持って奉仕し
てくださる浪速教会の信徒の皆さまにいつも尊敬と
感謝をしています。

全国教会女性連合会も浪速教会を覚え、皆さまの働き
に主の導きが豊かにありますように祈っています。

私個人としては毎年 3 月にはシオン合唱団の一員と
して浪速教会に出向いた者です。讃美するシオン合唱
団の私たちはいつも皆さんとの出会いと共に美味し
い食事に感動していました。

今年も皆さんとの出会いを楽しみにしていましたが、
コロナウイルスのためお会い出来なくなり、残念です。
コロナウイルスの猛威に今はただ祈るのみです。

困難な時こそ主のみ旨を悟る者になりたいと思いま
す。皆さまは日頃から主のみこころに適う祈りと活動
をしていますので常にみ旨を悟られている事と思い
ます。この危機の時こそ皆さまの働きが全国教会の模
範になると確信しています。

この危機を乗り越えて皆さまと笑顔で会える日が近
い事を願います。

浪速教会の信徒の皆さんが健康でありますようにお
祈りします。いつも隣人に愛を持って救いの御ことば
を伝える事に熱心な皆さまに主の豊かな恩寵が注が
れますようにお祈りします。

「ご挨拶」



西部地方会女性会 会長
兪貞恵 勸士（武庫川教会）

「賜物が生かされている」

この度、浪速教会「愛の家」ニュースレター「挨拶
文」の依頼を受け、お受けしたものの過去の「挨拶文」
を拝見するとほとんどが牧師任でした。私は恐れおい
いのでお断りをしました。しかし祈りの中で、神さま
は牧師ではない私を選ばれた事に意味があると感じ
「挨拶文」をお受けしました。私は武庫川教会で聖歌
隊奉仕をしています。浪速教会には 8 年前ぐらいか
ら、毎年、聖歌隊・有志と訪問させていただいており
ます。礼拝をともにささげ、特別讃美奉仕をさせてい
ただいています。浪速教会を訪問するたびに心に平安
が与えられ恵まれています。また訪問する楽しみがい
くつかあります。

- 1 牧師任、師母任の素敵な笑顔で迎えてくださる事
2. スタッフの皆様が一年ぶりに会える事
- 3 兄弟姉妹と一緒に讃美する喜び
4. プロの調理員より調理された食事をいただく事
(本当に美味しいです。)

そしてなにより、牧師任、師母任の献身的な働き、ス
タッフの皆様が喜びを持って働く姿を見るたびに、心
が熱くなります。一人ひとりの賜物が生かされてい
る浪速教会「愛の家」。神さまが一人ひとりを愛し導
いてくださったと信じます。マザーテレサは、「愛の
反対は憎しみではありません。他者への無関心です。」
と言われました。私たちは利己主義な人間です。家族
を愛するように他者に関心を持ち愛するようになり
たいと頭では思いますが、行動にはなかなか移せませ
ん。浪速教会「愛の家」の働きに見習い私たちが隣人
に関心を持ち愛することが出来れば神さまは、どんな
に喜ばれることでしょうか。浪速教会「愛の家」が神
さまの大いなる祝福がありますよう、お祈り致します。



宣教チームの訪問

賛美歌手の張美卿(ジャン・ミギョン)執事:(12月中旬)やさしく真つぐな眼差しと共に賛美とご自身の証を捧げ、神様の愛と慰め・福音を「愛の家」の人々に伝えてくださいました。大邱忠誠教会宣教チーム(11名):(1月初旬)毎年1月に欠かさずに青年たちを連れて訪問して下さるこのチーム、今回は小学校低学年の女の子も1人いました。現在、韓国の大邱は新型コロナウイルスの影響により街を歩くのはもちろん、教会も1か月間は活動を休止し、自宅でインターネットを通しての礼拝を捧げています。ウィルスに一刻も早く終止符を打ち、病にある人が癒され、関係者が慰めと励ましを受け、人々の平安な生活が再開されますようにお祈りしています。



木曜伝道集会・日曜伝道集会(新型コロナウイルスによる影響と対策)

武庫川教会聖歌隊とメノナイト石橋教会のみなさんが木曜伝道集会で特別賛美を捧げてくださいました。石橋教会からは子供たちが手造りのクリスマスカードをおじさんたち一人一人に配ってくれました。



新型コロナウイルスの拡散を懸念し、私たちも木曜伝道集会を3月～4月の間を断念し、高架下でせめてお弁当だけでも配るようにしました。週に一度の野菜たっぷりの食事を採って免疫力を高めてほしいからです。配り手はマスクを着用し、手洗いやアルコール消毒をする事で感染を予防しています。新たな試みにスタッフの中で混乱があるかなと思いましたが、皆が臨機応変にポジションに就き、対応できています。主の平安と知恵に満たされているのは、皆さまのお祈りのおかげです。ありがとうございます。



金曜炊き出し会・衣類提供会

今年は暖冬で、炊き出し奉仕がどの冬よりも楽だなあ・・・と感じ出ています。炊き出しに並ぶ方々も震えながら食事をする、という事がないため、地球温暖化は心配なのですが外での奉仕としてはありがたいことでした。最近の衣類提供会では、炊き出しに並ぶ方々からのお手伝いが多くあり、感謝であります。衣類を並べながら、また片付けながら他愛もない話もできるようになり、長年奉仕を続けてきたからこそ、このような信頼関係を築けたのではないかと考えております。その他にも、今年も多くの宣教チームや各団体が、炊き出しのお手伝いをしてくださいました。特に印象深いのが大阪女学院短大の方々です。回数を重ねるごとに参加人数が増えてきて、今年は炊き出しに並ぶ方々よりも多いのではないかとこのくらいの大行列でした。残念ながらその日は雨がふったので衣類提供会は中止となってしまったのですが、次回のお手伝いを約束してくださったことには感謝でした。また今年は特に留学生の参加も見え、時代の変化を感じています。どの国においても、誰もが人権を守られ、弱者こそ大切にされる社会になってほしい。そんな社会を創ろうとする若者が、西成や愛の家で良い出会いをしてほしいと思ったものでした。



洗礼者教育と受洗者

ハレルヤ！昨年12月の聖誕(クリスマス)主日では2人の兄弟が洗礼を受け、神の子どもとなりました。数年間通い続けて礼拝も賛美も一生懸命に捧げ、ようやく主を受け入れる準備が整った81才の兄弟、教会には来てまだ数年とまではいかないけれども、素直に主を救い主として受け入れることができた働き盛りの45才の兄弟です。心の暗闇にイエス・キリストという命の光が入り灯され、彼らの笑顔は少しずつ解放されつつあります。ハレルヤ！！

クリスマス キャンドル礼拝・祝賀会

昨年12月24日、ちょうどクリスマスイブの日、クリスマス祝賀会を行いました。夕方5時から第1部のキャンドル礼拝、第2部では発表会、第3部ではパーティーの順で行いました。教会学校の子供たちから大人まで全信徒が参加した上で、近隣のハレルヤ・サンライズ・チャペルの奥田昭牧師夫妻、またホサナ教会の金景淑牧師夫妻も来られ、演歌ゴスペルや手話賛美でイエス様をほめたたえてくださいました。子供たちもおどりやピアノ演奏、賛美をもってイエス様をお祝いし、喜びがあふれました。

何よりもうれしかったのは、西成で一人寂しくしているおじさんたちも招待して、共にクリスマスのページェント(参加型のお話)をしたことです。彼らが生き生きと舞台である正面に出てセリフを読み上げるその喜ぶ姿を見ると涙が出ました。2部の司会者である平野執事が準備したクイズによって参加者皆が長い時間でも退屈しないで楽しく過ごせたことに感謝します。3部のパーティーで「ハッピーバースデーイエス様！」の歌をみんなで歌い、イエス様の2019才のお誕生日をお祝いしました。浪速教会の信徒たちの手作りの料理をみんなが楽しく頬張り、祝賀会は幕を閉じました。



当重 茜(とうじゅうあかね) 姉妹 命がけのクリスマスコンサート

昨年12月20日(金)の夜の祈禱礼拝のことです。毎月1～2回木曜伝道集会にて賛美のご奉仕をしてくださる当重茜姉妹が「今年は珍しく予定がないので、ぜひ浪速教会でクリスマスコンサートのご奉仕をさせてください」と申し出てくださいました。しかし、コンサート1か月半まえから激痛の体調不良を覚え始められました。診断結果は「悪性リンパ腫」と告げられました。そんな中で、ひっそりと浪速教会と「愛の家」のファミリーたちと共に捧げられたそのクリスマスコンサートは言葉には表せつくせない恵みに満ち溢れるばかりでした。真の信仰と主への信頼・感謝の生贄を捧げて見せてくださった当重茜さんご家族の皆さまには心よりお礼を申し上げます。尚、現在も入退院を繰り返しながらも信仰と感謝と笑顔で抗がん剤治療に励まれています。今も多くの方々が祈ってくださいますが、これお読みになった皆様にも主からの治癒と励ましのための祈禱をお願い致します。茜姉妹の近況はこちら⇒<https://ameblo.jp/acanecchi/>



越冬対策夜回り

毎年11月初旬～3月末までの寒い時期、金曜日の夜におにぎりとお味噌汁をもって医療センター周辺を夜回りしています。センター閉鎖の事はニュースや新聞等でもみなさんも一度はご覧になられた方もいらっしゃると思います。その医療センターを囲い守っているかのように、人々が夜は寝たり、囲碁をしたりしながら過ごしています。毎週メンバーが交代で温かい食事を運びながら一人一人に声をかけて安否確認をしました。この尊い働きを事故もなく、守り支えてくださった神様に感謝します。また、西成の兄弟たちを覚えて祈り応援してくださった皆様にも心からお礼申し上げます。

奉仕者の声

『^{しもべ}僕は知っていた』

全 聖三 牧師
(在日大韓基督教会 布施教会)

いつから「愛の家」で奉仕をしたのかをはっきりと覚えていない。そこで手帳を調べたら 2002 年 10 月 3 日(木)であった。もう 18 年をすぎていた。こんな者を常に共にいて用いてくださった神様に心から感謝をしたい。

でも行くようになったキッカケとその動機とは忘れていない。ある宣教師が、浪速教会でのホームレス救済を助けたいと言われた。その思いを聞いて、私も出来ることがあれば奉仕をしたいという願いが与えられ、すぐに車の運転奉仕をすることを約束したのである。

ヨハネ福音書 2 章にはカナの婚礼の話が出てくる。その婚礼で大切な葡萄酒が切れてしまう。イエスは僕に、二つの事を命じられた。「水がめに水をいっぱい入れなさい」とその水を「料理がしらのところに持って行きなさい」と。その後重要な御言葉が出てくる。水をくんだ僕たちは知っていた。

この僕も、この奉仕を通して多くの恵みを知ることができた。それは死人を生きし、無から有を呼び出される神様の御業である。

97 年、開所礼拝に参列された全牧師



当初、浪速教会は 2 階建ての工場を借りて礼拝を捧げていた。会堂一杯の人々、その匂い、神の御言葉を聞いてから後に提供されるびっくりするような量の昼食、今でも目をつぶったら思い起こすことが出来る。運転奉仕だけでなく、説教奉仕もするように導かれ、食べてすぐに無くなるような糧ではなく、命の糧である御言葉を声大にして語り続けたことは感謝しかない。でも何も所有しなかったこの教会が土地を購入し、自分たちの手で会堂を造り上げ、食事を供給し続けている。まさに主の山に備えあり。無から有を呼び出される神が共におられるということを僕は知りました。

第二に希望を失っておられた方々が心からの讃美をする姿、受ける者から与える奉仕者となったスタッフ達、御言葉を語るこの者にキリストの愛を注いでくださった神様の臨在等など。この僕は人間を生かす神が常におられる場所だということを知りました。この「愛の家」での礼拝で集まる方々へどういう慰めを与えることができるかというプレッシャーがあり、行く前に恐れを抱くことも数多くありました。でも今ははっきりわかります。目に見えない神が導き、死者を生かす力が溢れる場所だということを。神様が主となり、ひとり一人に触れ、私たちの人生を変えてくださる。ここに来るなら、神のそのアガペの愛を体験できるということを私は知りました。是非、皆様も来てくださり神様が生きておられるということを味わってください。



私は第四木曜日に教会の車で奉仕に向かいます。今日の昼食は何を食べれるのか。浪速教会の食事は愛がこもっていてとてもおいしいですから。またどういう恵みを神様がくださるのかという期待(「愛の家」には多くの讃美奉仕者や短期宣教チームが来られるので)と、糧よりも大事な命の御言葉を携え行きます。

最近は大抵が一人で出向きます。ときどきには布施教会の信徒から預かる空き缶を積んで行きますが、空き缶一つにも神の愛を運んでいるという自覚をもって行きます。

でも今までには沢山の奉仕者をお連れしました。その礼拝にて特別讃美をし、貴い献金を携え、またハーブと歌声をもってホームレスの方々を大いに慰めた宣教師、布施教会に来た韓国からの宣教チームなど数えきれません。また顔は見えないけれど背後で祈ってくださる方々、实际的に食物をささげてくださる方々。まさにここに神の愛が溢れています。

私がもう一つ知っているのは奉仕を終えて帰る車で働き人の喜び溢れる顔、顔です。神と人に奉仕をするときに、私たち人間は生きる喜びがあふれるのです。是非、愛の家に来て、見て、感じてください。



④ 牧師夫人と共に

奉仕者の声

『 20歳まで…が、79歳！ 』

浅井 ^{としあき} 紀享 聖徒
(浪速教会「愛の家」)

私は浪速教会では極めて珍しい北陸地方の石川県加賀市の出身です。加賀といえば九谷焼や加賀温泉が有名です。家族は両親に妹が2人でした。私は体がとにかく弱かったので、医者には20歳まで生きるかどうか分からないと言われていました。父親は戦争に行ってから真面目さを失い、ギャンブルとスナック通いしかせず、家には全然生活費を入れるような事をしていませんでした。その分、母親が一生懸命内職や家政婦業で外に働きに行っていました。内職は自転車のチェーンの部分の組み立てで、私たち兄妹も総出で手伝っていました。母親の苦労やお金の無さに、私も小5の時に近所のおばさんに頼み込んで新聞配達をさせてもらいました。当時は自転車なんて



お金持ちの家にしかなく、私は歩いて配達をしました。能登半島は一度雨が降れば洪水になるし、雪もたくさん降り積もるので、あまりのしんどさに1年で配達を断念しました。銭湯代が1人5～10円、家賃が500円の時代、内職や新聞配達で各々2千円くらいの儲けでした。戦後間もない頃、貧しい家は大抵が毎食薩摩芋かカボチャを食べていたので、今でもそれだけは食べられません。

そんな環境下でも、いい人たちにも出逢い、やさしくしてもらった事も覚えています。米屋の友達がいる、新しい長靴を買ってもらったからとお古をくれたり、時にはお米もくれました。そのお米は遠足の時に食べたりしました。借家4軒くらい所持していた大きな屋敷の米屋でしたが、ある時から父親がギャンブルのボートにはまっていまい、少しすると母親まで一緒にいくようになって、最後には自分たちが借家に住むようになってしまい、私の友達は高校を出ると単身東京の方に行き、消息不明になってしまいました。また、私が中学の時、お金が

なくて修学旅行は行けないと内心諦めていました。ある日、担任の徳永先生が私を呼び、「浅井君、修学旅行に行きたい？」と聞き、旅費を出してくれました。それだけでなくお土産代の2千円まで持たせてくれました。修学旅行は蒸気機関車に乗って京都・大阪・奈良に行き、八つ橋と栗おこしを買いました。また、同じ長屋に住んでいたおばさんが私にお使いを頼み、そのお釣りを20～30円お小遣いにくれました。

それでも、お金がなくて高校を1年で中退せざる得ず、その後、お菓子の問屋で半年、新聞や生命保険の営業をしたり、プロパンガスの配達を2年しました。その時に大分体力がついたと思います。とても良い仕事でしたが、ご主人が事故に遭い、経営を続けられなくなり私は職を失いました。そして新聞広告をみていたら京都の旅館で募集していたので、昭和40年2月の一番寒い時季、各停列車で京都に向かいました。所持金5千円、列車代700円。京都は錦市場の近くの旅館「金波桜」で1年半ほど働きました。夏は暇で、修学旅行や受験シーズンだけ忙しく、お膳運びは10段くらいを積み重ねて階段を上り下りしないといけませんでした。1年半くらいすると和歌山の白浜温泉に移りました。とても大きな旅館で、団



体が来ると200～300のスリッパを並べ、お客様の靴を番号札と交換して下駄箱に入れなければならない、それが一番辛い作業でした。

ところで、この旅館にはとてもきれいな仲居さんがいて、出会った当初から気になっていました。彼女が胃を悪くして入院したと聞き、果物などをもって見舞いに行き、うまくお付き合いすることができました。しかし、彼女の父親が特別難しい人で、ある日彼女は旅館を止めて実家に帰らないといけないう事になり、私たちは付き合いに終止符を打ちました。

そうこうしていた年末のある日、実家に電話



8 ページに続く...

「特集」「愛の家」の恩人⑧

嶺 洋一 さん（浪速教会 名誉執事）

私達浪速教会は、2000年3月より北津守4丁目の旧教会堂で伝道集会を始めました。当時、伝道集会は毎週金曜日午前、賛美の時間を持ち、礼拝を捧げて食事を分かち合う形で行っていました。嶺さんは野宿生活をしていたので食事を求めて私達の伝道集会に参加しました。私達「愛の家」は人手不足で、参加している人からボランティアを募集しました。嶺さんは聖歌隊にも厨房での皿洗いにも申し込んで浪速教会の奉仕者になりました。自らラーメン屋を営んだ経験があったので、ご飯を炊いたりおかずを調理したりして活躍してくれました。

彼は仕事にはとても熱心な人で教会の掃除、植木の管理、支援物資の整理などの奉仕も進んで取り組んでくれ、とても助かりました。私達は住み込みで働くようにお願いしました。寝床もなかったので教会の片隅で寝ながら浪速教会の家族として共に生きようになりました。

彼は私達の聖書勉強会にも参加し洗礼者教育にも参加し2001年イースター礼拝で受洗しました。2004年には66歳になったので生活保護を申請して屋根のある部屋で生活をするようになりました。落ち着いた生活が出来るようになり、余った時間を活かして自分の趣味である船の模型を作る様になりました。元々海上自衛隊出身であったので船を作りそこに浪速教会の名前を書き記し、十字架を旗印として掲げて置きました。2ヶ月以上かけて作った船は韓国から研修生としてきて働いた青年達にプレゼントしました。浪速教会は2004年から教会堂を建てるため、建築献金募金活動を始めました。その時、彼は集会に参加するホームレスの方々にも呼びかけアルミ缶を建築献金として捧げる運動を提案して始めました。アルミ缶献金運動には、多くの兄弟姉妹が参加してくださり、建築の大きな力となりました。

嶺さんは今年82歳、ここ数年で病気や手術をして残念ながら今は働けなくなりましたが、いつもお小遣いを使って教会学校の子供達におやつを買って励ましてくれています。浪速教会が一番苦しい時、教会を共に担ってきた嶺さんの奉仕は神様が覚えて下さると思います。



「愛の家」会計決算報告書(2019.1.1-12.31)

収入	19 予算	19.1-12	備考
定期後援会	1,000,000	942,600	94.3
一般後援会	1,700,000	1,404,743	82.6
クリスマス献金	1,200,000	880,339	73.4
食事献金	400,000	246,200	61.6
総会支援金	300,000	300,000	100.0
地方会支援金	450,000	450,000	100.0
御米献金	260,000	80,500	31.0
小計	5,310,000	4,304,382	81.1
繰越金	761,138	761,138	100
合計	6,071,138	5,065,520	83.4

支出	19 予算	19.1-12	備考
事務・備品・印刷費	280,000	313,274	
交通費	100,000	6,764	6.8
車両維持費	200,000	143,354	7.2
奉仕者支援金	1,200,000	102,582	8.5
研修費	100,000	0	0.0
御米代	600,000	425,307	70.9
副食費	2,000,000	1,919,153	96.0
会議費	30,000	0	0.0
発送費	120,000	76,445	64
建築積立金	1,000,000	1,000,000	100
救済費	60,000	0	0.0
修理施設費・予備費	381,138	121,670	
小計	6,071,138	4,108,549	68
繰越金	-	956,971	
合計	6,071,138	5,065,520	96.4

「愛の家」会計決算報告書(2020.1.1-3.31)

収入	20 予算	2020.1-3	備考
定期後援会	1,000,000	196,500	
一般後援会	1,500,000	301,308	
クリスマス献金	1,000,000	343,907	
食事献金	300,000	52,000	
総会支援金	300,000	300,000	
地方会支援金	450,000	105,000	
御米献金	100,000	19,500	
小計	4,650,000	1,318,215	
繰越金	956,971	956,971	
合計	5,606,971	2,275,186	

支出	20 予算	2020.1-3	備考
事務・備品・印刷費	350,000	49,465	
発送費	100,000	0	
交通費	10,000	330	
車両維持費	150,000	26,424	
奉仕者支援金	500,000	0	
研修費	100,000	0	
御米代	500,000	2,500	
副食費	2,000,000	340,390	
建築積立金	1,000,000	0	
救済費	50,000	0	
修理施設費・予備費	846,971	0	
小計	5,606,971	419,109	
繰越金	-	1,856,077	
合計	5,606,971	2,275,186	



路上生活者支援のための 献金のお願い



春の訪れも、もう間もなく・・・と感じる季節、そして、イエス様の御受難と復活を心に留める季節となりました。支援者の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より私ども、浪速教会「愛の家」の活動へのご理解、ご協力を賜り、まことに感謝申し上げます。

前号において、献金のお願いを掲載させていただきましたクリスマス献金には、たくさんの方々が祈りと愛をもってお応えくださいました。心より感謝申し上げます。皆さまが献げくださったクリスマス献金は、路上生活者の支援のために用いさせていただきます。

この冬も11月から越冬対策夜回りを始めております。この寒さの中、路上生活を余儀なくされている西成の仲間を思うと胸が痛くなります。特に今年は新型コロナウイルスの為、いつも以上に緊張した冬となっております。今年も皆が無事に春を迎えられますようにお祈りください。また一人でも多くの西成の仲間が、主に出会い、主に新たにされて、残りの人生を主と共に歩む決心へと導かれますよう、お祈りくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

現在、私ども「愛の家」は炊き出しを一週間に3回行っております。金曜炊き出しには毎回約100人～150人、日曜礼拝や木曜集会にも常時100人近くの路上生活者が温かい食事を求めて並ばれます。炊き出しの実際の経費として、毎週45,000円を支出しております。

(お米50kg・10,000円、副食費35,000円、合計45,000円)

これからも神様の愛の業に励むことができますように、浪速教会「愛の家」の活動にご理解、ご協力頂き、また献金をおささげくださいますようお願い申し上げます。

「愛の家」事業：金曜炊き出し、木曜集会&日曜礼拝と食事提供、散髪奉仕、共同生活、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、越冬夜間パトロール、生活用品収集分配

2020年度 献金目標額：100万円

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、 定期後援：毎月1000円以上

◇ 衣類、生活用品、靴、靴下、寝袋、下着、鞆、タオル、ホッカイロ、食材、お米を送って下さい

(古着のスーツ類は需要が少なくなっています)

郵便振替： 00930-0-299392 在日大韓基督教会 浪速教会

送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、 Fax 6561-4709

E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2020年4月

在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」

牧師 金 鐘 賢

献金者お名前(敬称略・順不同)

(2019年11月1日～2020年3月31日)3/10 現在

◆ 定期後援金

グッド・サマリタン・チャーチ大阪淡路チャペル・洲本チャペル、大阪東南キリスト教会、在日大韓基督教会総会、在日大韓基督教会関西地方会、古川富也、山住達樹、石井洋二、河内常男、朴栄子、呉蓮実、当重茜、金景淑、吉村俊郎、新国久男、寺岡孝、金鐘賢、大木正典、金英姫、平野竜一・真希、匿名

◆ 一般後援金(食事献金も含む)

グッド・サマリタン・チャーチ洲本チャペル、大邱忠誠教会宣教チーム、シンガポール放送宣教チーム、シオン合唱団、井上豊、竹内景子、村田、川島美恵子、山田律子、萩原輝男、橋本、東、中川正明、重松絢子、匿名

◆ クリスマス献金

大阪東南キリスト教会、ホサナ教会、グッド・サマリタン・チャーチ洲本チャペル、石橋教会、名東教会、荻窪北教会、苫小牧教会、大垣教会、伊達教会、西宮中央教会、福岡城南教会、旭川教会、茅ヶ崎東教会女性の会、大阪姫松教会、池田教会、南浦和教会、札幌桑園教会、都島教会、横浜海岸教会、柏木教会、宇都宮松原教会、滝川教会、吉田教会「教会と社会委員会」、横須賀教会、香里園教会日土教会、ふなお幼稚園、神戸湊西教会、草加教会、神戸湊西教会、西新井教会、京都東山教会、西部地方教会女性連合会、大阪教会女性会、盤石教会、豊中第一復興教会、京都教会女性会、川崎教会、布施教会、武庫川教会聖歌隊、武庫川教会、大阪西成教会、神戸教会、布施教会教会学校、折尾教会、福岡中央教会、広島教会女性会、つくば東京教会、京都教会、博多教会、広島教会、大阪北部教会、神戸東部教会、川西教会、堺教会、平野教会、豊橋教会、名古屋教会、布施教会クリスマスキャロル隊、関西地方教会女性連合会、木村敏子、宮澤玲子、小山萌愛、久保安子、藤田桂子、金森俊徳、金龍玉、徳山愛子、新国久男、角野三雄、李国姫、千田薫、李恩順、清水真一・佐代子、山本覚、島村教子、重松絢子、小西恵美、土方真志・詩織、今井牧夫、佐藤孝一・悦子、千奉祚、田部郁彦、金錦順、

お米、お米献金

グッド・サマリタン・チャーチ洲本チャペル、大阪姫松教会、長野県茅野市社協会、宮澤玲子、小林勝、田部郁彦、小西恵美、匿名

◆ 食材

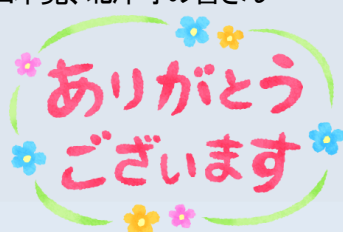
フードバンク大阪、フードバンク関西、ぐるり農園、グッド・サマリタン・チャーチ洲本チャペル、ご受難会、ミオ介護サービス、(株)重松貿易会社食品部、救霊会館、清水真一・佐代子、匿名

◆ アルミ缶献金

「愛の家」に通う兄弟達、北津守の皆さん、伊藤房子

◆ 衣類、靴、生活用品、切手

グッド・サマリタン・チャーチ、ホサナ教会、京都教会、松井明美、ご受難会、川島美恵子、山本覚、北津守の皆さん



5ページ「奉仕者の声」の続き

を入れてみると父親が亡くなったと知り、地元に戻って山城の温泉旅館「山下屋」で働くことにしました。しかし、そこで遂に私自身がギャンブルにはめられてしまいました。同僚たちが麻雀を教え、賭けをして借金まで作ってしまいました。挙句の果てに私は逃げて大阪に来ました。それが昭和54年8月でした。当時は仕事がたくさんあったので、日本全国へ派遣されながら土方業をしていました。大阪に帰ってくると心齋橋で青寒(＝野宿すること)をしていました。そんなある日、友達から浪速教会で食事ができると聞いて、旧教会堂の時に通い始めました。それからずっと通い続け約11年、2014年イースター礼拝で受洗しました。私は元々歌が好きで讃美歌も好きです。礼拝前の賛美の時間では必ず前に出



て踊って主を賛美します。四旬節の時には「あなたも見ていたのか」と讃美歌の歌詞が知らず知らずの内に口から出てきます。また教会の掃除や交通整理・お握りづくりに夜回り、他の奉仕もみんなの為になるならと喜んでできます。また感謝なことは、「愛の家」を覚えて全国・海外から支援してくれた手紙を書いて送ってくれたりする事です。他のもそんな事してくれないです。私はそのお陰で助けられ、救われ、今があります。本当にありがたいことです。私はまだまだ悪い癖も抜け切れていませんが、浪速教会「愛の家」の家族とと共に生き、御国に行くまで教会に通い、聖書をもっと読んでいきたいです。

発行責任者 金鐘賢

〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3

浪速教会「愛の家」内

TEL 06-6561-4712(教会)

E-mail: ainoie@msn.com

ホームページ: www.ainoie.org

郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会

00930-0-299392